

2024 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	河本 信雄
研究テーマ	幕末佐賀藩のアームストロング砲模造の実態解明および田中久重に関する研究深耕
研究概要	（１）一般には幕末期に佐賀藩がアームストロング砲を模造したとされているが、史学的見地では実否が明らかでない。また、当時の製法も不明である。これらに関して、海外のものを含めた史料文献を調査研究して実態を明らかにする。 （２）申請者が長年研究してきた、田中久重（江戸後期から明治初期にかけての職人、技術者、起業家）の研究を深耕する。

1. 研究活動の概要と研究成果	（１）の研究に関しては、長編の論文作成を予定しているが、昨年度までに、第一章第二節（三）項までに相当する論文を発表した。今年度は次の２で記した論文⑥を発表した。なお、諸般の事情により掲載誌が『福岡地方史研究』から『銃砲史研究』に変更になったため、⑥の内容は、第一章第二節（三）項までの改訂版、および、（四）～（六）項書き下ろし、となっている。また、第一章第三節に相当する論文を書き進めた。来年度に発表を予定している。 （２）の研究に関しては、次の２で記した論文①を発表した。また、発表③を行った。③に関しては、論文にまとめており、投稿済みである。採用の旨の連絡が来ており、来年度に学会誌に掲載される予定である。また、田中久重の作品に関する、論考「万年時計秘話」（二～三）を作成し発表した（掲載誌『会報 郷土久留米』第150号、2024年6月）。
2. 学術論文・学会発表等	〔論文等〕 ①単「田中久重の幼名」『技術史教育学会誌』第25巻第1・2合併号、pp.11～19、日本技術史教育学会（2024年4月、査読有） ②単「幕末佐賀藩におけるいわゆるアームストロング砲の製造をめぐって — 田中久重・石黒直寛関連史料・文献および海外文献からのアプローチ — 序章～第一章・第二節」『銃砲史研究』第398号、pp.1～60、日本銃砲史学会（2024年9月、査読有） 〔発表〕 ③単「田中久重の江戸期・職人時代の名前」日本技術史教育学会2024年度総会・研究発表講演会（2024年7月20日、東京・サレジオ工業高等専門学校）
3. 競争的資金等への応募と採択	2024年度科学研究費 基盤研究(C)（一般）：「幕末佐賀藩における、いわゆるアームストロング砲（成層式施条後装砲）模造の実態解明」（採択期間：2024～2028年度）。
4. 今後の課題	（１）（２）の研究の深耕、論文発表。